

## 令和二年 新年訓示

昨年末、1年を振り返り世相を表す漢字一字は、『令』でした。未来に進んでいく、明るい新時代を願う国民の思いが集約された一字でした。

また、2019年の干支<sup>いとし</sup>亥年は、十二支の中でも一番最後の年で、**今までのことに終わりを告げて次の世代へと向かう準備をする年**という年でした。

そして迎える2020年は<sup>ねどし</sup>子年は、干支でいえばスタートの年で、**種子の中に新しい生命がきざし始める年**です。また、**価値観ががらりと大きく変わっていく年**を暗示しているともいわれております。

今年は、今までのように安穩と構えておれなく、将来の状態を予測し、様々な事態に対応できる様、しっかりと計画を立て実行していかなければならない時代が来ています。

そこで、新年に当たって、**今年3つのことを念頭に置き、取り組んでいきたい**と思えます。この3つのことは関連しています。

★ ① **過去の慣習にとらわれず、施設理念に沿った「明るく、思いやりのある、家庭的なケアの実践」に向けて弛まず質の向上を目指して変革していただきたい。**

基本は、「地域の方に愛され信頼される施設」を目指し、特に、少子高齢化の進行が進む中、社会福祉法人には地域社会に貢献するサービスの提供が求められている。

★ ② **元号『令和』の「和」を重んじ、チームワークやエンゲージメント（愛着心）の強化に取り組んでいただきたい。**

元号の「和」の字は、明治以降ですと「明和」「享和」「昭和」などこれまでに19回使用されており、「令和」で20回目だそうで、聖徳太子が作った、「**和を以って貴しと為す**」という言葉があります。これはご存じの十七条憲法第一条の法文ではありますが、意味は、お**互いに理解し合い、調和していくことが最も大事**なことである、という教えを解いたものであります。

常に、**和を意識した行動をしていただきたい。**

★ ③ **仕事の仕方「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」の実践をしていただきたい。** [働き方改革] これは、世界 No.1 の総合モーターメーカー日本電産の**永守重信会長の仕事の流儀**で企業理念でもあり、言葉です。

**特養施設地域No.1のビジョン**を持ち、「**明るく、思いやりのある、家庭的なケアの実践**」徹底した理念の追求をしていく。

大事なことは、**何事にも自分で考え徹底的に取り組むという姿勢を持っていただきたい。**

以上、申し上げたことを充分理解し、附に落として新しい年の楽々苑の施設運営を共に良くしていきましょう！